



部活指導 生徒最優先に

はしもと まり
橋本 真里さん(金津高3年)

この記事は、学校の部活動の外部指導者を無条件に「良いもの」としてみるかどうかについてです。教員の負担軽減、生徒の技術向上ができるのであれば大きな力になります。しかし、

顧問と外部指導者の間でも部活動への取り組み方の違いがあります。指導者の方針によっては生徒が辛い思いをするかもしれません。

この記事で私が一番気になっ

たことは、外部指導者の質という言葉です。これを自分なりに解釈すると、生徒を最優先に考える指導者であれというものです。

記事にある、1週間のうちの適当な指導日数を尋ねた調査では、「6日以上」と回答した割合が外部指導者は61%だったのに対し、教員は35%でした。生徒の学校生活を知っている教員にとって部活動は学校生活の一部。生徒も同じように感じているのでしょうか。しかし、外部指導者が生徒を見ているのは部活動の時間だけです。その時間で外部指導者は、生徒の生活全体を考え、適した練習時間や指導をしていくことが求められているのだと感じました。

